

因幡志

法美郡

三

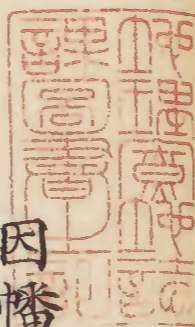
和書門		二九二八六	二二八六	三三冊
類		號	函	架

和書		二九二八六	三三冊	一七五函
類		號	冊	架

七五三

内閣文庫		
番號	和	29286
冊數	33 (4)	
函號	175	105





因幡志卷之三

内一〇九九二號

因府侍醫安倍惟親 恭庵編

郡郷之部

法美郡

一當郡ハ邑美東ニ鄰テ其詰ハ但馬國ニ方郡ノ界十

ノ扇カ山ヲ城トス南ハ上ハ東ニ竝テ北ハ巨濃郡

ト云リ谷筋東ヨリ西ニ閱テ半途ニテ南ハ支谷ア

本谷ハ東ニ通テ雨滝ヲ村トス此谷ヲ大坂谷

ト云リ支谷ヲ小坂トイフ詰ニ上地村アリ

讀ベシ下準之





此兩谷ノ間ニ菅野大石石井谷ノ三村アリ上古ハ上
 地村ヲ合シテ是ヲ石井郷ト云リ今共ニ大草郷ニ属
 ス小岐谷ハ八東ニ隣テ上地ノ山ワ、キ荒舟崩御平
 ノ峰通ヨリ岡益生山ノ山ヲ境テ南ハ私部郷十リ八
 上ノ境ハ津井郷ノ三本松ヲ誌トス邑美ノ界ハ稻葉
 郷ヲ城ル巨濃郡ノ境ハ大岐谷ニ十王嶺ジウワウタケ兩滝村ヨリ銀
 大茅山小茅山アリ自木原通其以下宇倍山ノ嶺通ヲ
 城トセリ古巨濃ノ界ハヒ千山ノ嶺ニアリテ西ハ法
 美ノ郡内十リ中比ノ兵乱ニ境界紛失シテ今巨濃郡
 二属セリ行程東西九五里餘南北今二里ノ余ハアル

一 倭名鈔法美郡條下曰大草オホクサ於保石井イハ高野タカノ津井
 都乃稻羽伊奈波服部波止廣西比呂

右ハ郷ノ名十リ大草ハ前ニ謂大草谷是十リ今大
 萱又大茅トモ書リ是ハ草字加也トノ訓ニ就テ萱
 茅ノ字ヲ用タル十ルヘシサレト和名鈔亦載諸国
 郡郷ノ名ノ其文字ハ奈良ノ御代元明元正ノ兩朝
 和銅元龜ノ比詔命ニ因テ定リタル文字ノマ、
 トナレハ妄ニ書テ易フヘクモアラズ其他ノ地名
 モ準知スヘキ也石井郷ハ今大草ノ内ニ入上ニ記

大石石井谷 四ヶ村是十リ高野ハ今巨濃郡ニ属
菅野上地
ス小田ノ大筋上下ノ村々其号今ニアリ津井ハ八
上ノ境三本松ヲ城テ北カキリ方祢凝谷子ギ以下七ヶ村今モ
津井郷トイフ稻葉郷ハ大草ノ北ニツ、キ稻羽川
ノ東ニツフテ西北ハ邑美ノ界ニ至ル服部ハ七千
山ノ西塩見谷ノ総名ニテ上ハ左近村下ハ湯山細
川ノ海濱ニ至ル是モ今巨濃郡郡内トス廣西ハ稻
葉川ノ西ニ属テ西角邑美ハ上ノ境マテヲ一圓ニ
廣西郷トイフナリ是ハ一郡七郷ヲ分テ某郷幾村ト
スル上古ノ制法ナリ

一當國民間ニ傳ル古記ニ曰ク法美郡

大草郷 富木郷 廣西郷 中郷 稻葉郷 天津保
津井郷 惣社保 服部庄 二所庄 楠城 今衣社
法花寺 國分寺 高岡社 造生寺
富木或登儀又度木ニモ作ル按ニ倭名鈔巨濃郡罵
城郷ニ度木ト仮字書ナル故一交セサル十ルヘシ
此郷ハ大草ヲ分タル十リ中郷ハ廣西ヲ割テ國府
ト中間ナルヲ以テ斯イフナラム欵今ハ中郷村ト
スルナリ天津ハ稻葉郷ヲ分テ保トスルナリ津井
ハ前ニ同ニ惣社絶テナシ今中郷村旁ルニ其名ノ

ニ残^リタレハ此^レ迦^レ惣社ノ神領ナリ云^フナルヘ^シ服部
上^ニ謂^フ巨濃ノ郡内塩見谷ナリニ所^ハ海士村ニ祭
レ^ル神ヲ二所^ハ幡宮ト号ス延喜式神名帳載^レ之法
美郡服部神社是ナリ此^レ服部郷ヲ割テ神社ニツキ
タル聚落ナルヲ以テ二所^ハ庄ト云^フナルヘ^シ楠城今
モアリ大草ノ分郷ナリ今^{イマ}衣社法花寺今夜山辺ノ
田ノ字ニアリ此^レモ廣西ノ分郷ナルヘ^シ法華寺国
分寺ハ村名ニアリ高岡社ハ今ニアリ神領ナシ造
生寺絶テ跡形ナシ此^レ記年号ヲ本記時代知リガタ
シ凡^ソ郷村里ノ名ノ中ニ社号寺号ヲ其マ、呼^フモノ

ハ其^レ寺社ニツキタル聚落ニテ譬^ハ惣社領今夜領
ナドイフニ同^シ首卷言^フ謂^フ鎌倉以後ノ制法ニテ
此^レ例何^イ国ニモアリトニヤ今ノ国分寺村法華寺村
ナト云^フハ其^レ寺斫滅シテ只^シ其^レ号ヲ呼^フナラフテ村名
トス其^レ此^レ格別ナリ

一 寛文中郷村ノ記曰
法美郡 五十六ヶ村

- 稻葉郷 九ヶ村
- 立川村
- 矢津村
- 卯垣村
- 滝山村
- 百谷村
- 岩倉村
- 真谷村
- 宮下村
- 大杭村

中郷郷 十ヶ村

安田村 アム 中郷村 三代寺村 ミヤウサン 生山村 シヤウサン 百餘戸村 杉

崎村 櫻谷村 今在家村 正蓮寺村 国分寺村

津井郷 セケ村

根木谷村 ネキダニ 香取村 カトリ 白紙子谷村 カクコ 舟木村 フナキ 桂木村 カウラキ

皆藏寺村 カイザウ 廣岡村 ヒロオカ

廣西郷 ナカケ村

法華寺村 フキヤウ 回廊村 クワイロウ 町屋村 廣西村 玉鉾村 タマホウ 三谷

村 麻生村 高岡村 高井村 糸谷村

度木郷 トキ 八ヶ村

谷村 アカマス 岡益村 スニグ 清水村 神垣村 カウキヤ 山根村 新井村

吉野村 中河原村

大茅郷 オホクヤ 十二ヶ村

山崎村 荒舟村 上地村 菅野村 岩井谷村 枌 トキ

本村 楠城村 十石村 神護村 カムゴ 殿村 木原村

雨滝村

右度木郷 八ヶ村 内ニテ今松尾村ヲ増テ九ヶ村ト

大草郷 十二ヶ村 内荒舟木原各上下二ヶ村ニ

分又上地村ヲ分テ大石村ヲ置テ十五ヶ村トス 兩

大郷ニテ四ヶ村増テ六十ヶ村トス

一大草郷十石村ノ文字天文年中山名家筆記ニ十黒ト
 書リ又永禄中ノ記録ニ八十石トアリ
 一度木郷岡益村ハ古来^{ヲカマス}益ト書リ然^ルニ丘字陵ト訓ス
 陵益トハ字義^{レキ}宜^キニ不叶トテ近代丘字岡ニ改^{ケル}ト
 ヲ按^ルニ博雅ニ小陵曰^フ丘アレ共康熙字典ニ諸書ヲ引
 テ曰^フ丘阜也四方高中央下曰^フ丘雨雅釈^ル丘曰^フ非人為^レ之
 曰^フ丘司樂疏曰^フ土之高曰^フ丘アレハ強テ陵ト云^フトニハ
 総^シテ土ノ高ヲ云^フノ義^キナルヘシ漢土ノ地名ニモ營
 丘商丘楚丘靈丘咸丘虎丘等ニユ凡^ル地名ハ上世如何
 ナル故有^テ其文字ヲ定^ラレシモ知^ルヘカラサレハ昔

ノマハニアリタキ度ニユツ
 稲葉郷 九ヶ村

立川村

戸數四十軒
 氏神稻荷大明神 祭日九月廿三日

邑美法美兩郡塚之石
 當村ハ立川町三町目ノ南ニツキテ東ハ竹嶋天満
 宮ノ弓子馬子ヨリ西ハ靈光院門前通ヨリ百谷川^{津矢}

川トマテヲ立川村ト云ナリ其敷地總ニ云計リナレ
氏近年繁昌ノ地トナリ侍屋敷數多商家モ交々ニテ
農人ハカヅフル計ナリ昔ノ旁ルハ北ハ廣徳寺前ノ
土堤筋ヲ城リ西北ハ吉方西南ハ矢津村ニ隣リサレ
共元祿ノ比ヲヒ迄ハ民家モ落々ノ小村ナリシトニ
ヤ然ニ此処ハ法美ヨリ鳥取城下へ往還ノ要路ニシ
テ繁昌ノ地ナリ故ニ年ヲ遂テ民戸數ヲヒ何シカ城
下ノ町ニヒトシク軒ヲナラヘタリ依之近年廣徳寺
土堤外ヨリ靈光院ノ前過マテヲ鳥取町分ニ属ラレ
ケレハ今ノ旁ルハ昔ノ三分ノ一モアルニアラズ立

川ト号スルハ往昔國府川此山下ヲ流ケル時ノ名ナ
リトニヤ
邑美法美兩郡界之石 土人口碑ニ廣徳寺門前街道端
ヲ石垣ニ築クヘタル自然石 寺ニ向ヘハヲ兩郡界ノ
誌トス西ノ界ハ法泉寺後ノ大溝ヲ域ル入引木繩午
ノ土堤筋街道ノ横溝ニ掛ナラヘタル石橋 立川ニ丁
町屋ヨリアリ是立川ト吉方ノ旁ル界ニテ兩郡ヲ分
吉方方アリ是立川ト吉方ノ旁ル界ニテ兩郡ヲ分
タル溝口ト云傳タリ按ニ民談記ニ法泉寺ノ後ノ田
ノ中ニ石アリ此石田ノ中ニ在テ兩郡ノ界トナリ其
昔如何ナル故有テ斯ニケルニヤ不思議ナリ其也

ト記セリ然ニ近年此辺新ニ小路ヲ開キ侍屋敷縦横
ニ建ツラ子テ其石如何ナリシニヤ其有シトイフ
カヘ今ハ知人ナシ想ニ廣徳寺門前ノ立石ハ北界ノ
誌ニテ民談記云謂界ノ石ハ西ノ下子一方ノ誌ニ十
ラム歎

矢津村

戸數十軒

氏神稻穂大明神

覺性山雲光寺

黄檗禪本寺鳥取真禪寺

中島伊豆守墓

産物 荷葉

凡立川村ト百谷川

矢津川共云大橋ヲ界テ西南ノ

地ナリ北ハ立川ニ丁目ト三丁目トノ間狭小路ノ小

溝ニカ、レル石橋ヲ限レリ今時鳥取繁昌十ル此辺

マテ七綴ハ横ニ小路ヲ造リ侍ヤシキ軒ヲ十ラ

ヘテ農家ハ希ナリ昔ハ矢津保ト号シテ立川村モ此

保内ナリ

矢津大橋 立川ノ村外百谷川ニカ、レル地ノ名ナリ

是ハ昔國府川岩倉ノ山下ヲ廻リ百谷川ト一ツニ落

合流ケル其比ノ橋ノ長二十四間ト云リ故ニ今モ矢

津ノ大橋ト呼、モ昔ノ名残ナリトゾ其流下ハ今ノ三
枚橋ノ川筋ニテ其前後ノ土地ノ低ハ故大河ノ迹ナ
レバナリ或説ニ袋川ノ川上ニ鏡ノ洲ト云、処アリト
サレ共其処今知者ナシ按ニ宝曆ノ末比立川一丁目
ノ土民此大川口ノ畑ノ岸ニテ古圓鏡ニ枚掘出セリ
昔如何ナル故有テコレヲ瘞置ケルニヤ此川旧袋川
上流ナレバモシ此処ノ良氏ニヤ
中嶋伊豆守墓 村ヲ出ハナレテ奥谷道ノ西ノ田ノ中
ニアリ何タル人氏不知按ニ山名満幸ノ末葉ニ中嶋
四郎左卫門正時ト云者天正年中巨濃郡宇沼大野竹

美ノ辺ヲ領シテ中嶋村今号東ニ住ス其弟ヲ中嶋隠
岐守ト称ス末孫今ニ相續シテ陸上クガキ大谷ニアリモシ
是等ノ支族トモニヤ不分明
稻穂大明神 大橋ノハツレ街道ノ東田ノ中ニ鎮坐ア
ル是ナリ祭神倉稻魂ト云、或ハ神号因幡大明神又
因幡天氏号是ハ武内大臣當国下向ノ時三韓退治ノ
御幡ヲ此地ニ收祭ラル於此国名稻葉ノ字義因幡ト
改ムコノ故ニ昔當州ノ守ニ任スル人ハ必先此神宮
ニ詣テ、敬拜アリシ氏イフ

卯垣村 ウカキ

戸數二十一軒 出茶屋八軒

氏神若一王子權現

古城 号爵山城城主小西

神田橋 カムタ

立川ヨリ十二町東ホウ口谷ノ入口ニアリホウ口谷

ハ支谷ニテ滝山谷氏云ホウ口ノ名義文字モ不知モ

シホウカキノ轉語ナルニヤ此谷川ノ水國中第一ノ

名水ト云リ奥谷街道ノ左右ニ出茶屋アリ立川村ヨ

リ茶屋迄八町十リ

神田橋 此ハ昔国府川百谷川ト一ツニナリ當村山下

ヲ流ケル時其渡ニ掛タル橋ノ名ナリ昔法美邑美ノ

通行ハ今ノ立川筋ニ道ナク此ヨリ北ノ小西谷ヲ本

道ト云テ大日谷 カホヒカ 今東照宮 一山越シケルトソ其比ノ

橋迹今ニ安禪寺前ノ小川ニ掛タル獨梁ヲ神田橋トイ

フモ其旧迹ナレハ十リ

瀧山村 高 戸數三十軒

氏神山王權現 祭日

末社 若宮 荒神 權現社 胞衣荒神

天照山光清寺

時宗本寺相州藤沢山清淨光寺

榮養山宗林寺

日蓮宗本寺島取日香寺

醫王山吉祥寺

同宗本寺島取芳心寺

山高山安禪寺

臨濟禪本寺島取大隣寺

中村山大友寺

同宗本寺同上

万福山耕月寺

曹洞禪本寺島取天徳寺

大海山法香寺

黄檗禪本寺島取真禪寺

海國寺

天台律院本寺角寺村摩尼寺

慶雲庵

真禪寺持

土産

大竹

大竹

大竹

大竹

大竹

卯垣村ヨリ八町十五間ホウ口谷ノ東ニアリ是ヨリ

榎持チキタケ法美巨濃チキタケ迄廿三町ナリ峠ヨリ巨濃郡塩見ノ支

谷八重原村ハ廿二町トス又宇倍山通山道ヲヘタ子

坂ト云ハ大難坂ナリ坂中ニ一口水トテ各水アリ

是ヨリ塩見谷ノ詰リ左近村ハ往来スルヲ宇倍ノ越

ト云山、上渺沱ト平地ノ如ク云々、越ル支路アリサ

百レドモ雪中ニハ往来ナラス

輿塚コレツカ村ノ前田ノ中ハ小キ丘アリ是ハ氏神山王権現

初テ鎮坐ノ跡トイヘリ

權現山 村ノ南側ノ山ナリ往古熊野權現鎮座有リ故

新^{カク}イフト今ハ父ヘテ跡形ナシ人モシ此森ニ入^ラハ林

木ヲノツカラ倒^クレ折ル、音シテシハラクモ居コト

十ラスト云傳フ

百谷村

戸數

氏神山王権現社 祭

武王大明神

一溪山柳原寺 黄檗禪本寺鳥取真禪寺

寺領高五石六斗九升三合

柳原権中納言量光卿墓

滝山ヨリ廿八町十間トイヘリ谷ノ切詰ニアリ村ヨ

リ八重原村一十四町四十間ノ山道ナリ矢谷村一

里余左近村一三十町許共ニ榎峠ヲ越^ルナリ當村土人

ハ皆浄土宗代々鳥取三味山一行寺檀那ナリ

柳原氏之墓 柳原寺境内ニアリ寺ヨリ三十間許奥ノ

谷隘東ノ山下竹林ノ中也二墓ノ五倫ヲ安置ス柳原

量光卿夫婦ノ碑碣ナリ昔此辺ヲ領知セラレケルカ

時ノ乱ヲサケテ京都ヨリ此地ニ蟄居^チシ夫婦トモニ

此処ニテ卒去アリシト也當国下向ハ文明十八年ノ

比ナリ北ノ方ハ永正五年十二月九日量光卿ハ同七

年八月十八日ニ逝セラレシ由北寺ノ記録ニ云ハ公
卿補任ニ因列下向ノ事ヲ載タルハ分明ナリ當
一住居廿三年也其比国侍數多荷擔シ但列ヲ討シタ
カヘラルヘキ由ラス、メケル故其用意アリシ中ニ
病氣ニ因テ其吏止ヌト也量光卿長子ヲ資緒卿ト称
ス隱逸ニシテ官位昇進ヲ不望家嗣ヲ弟資定卿ニ讓
テ其身ハ當国ニ留リケルト其子孫伊藤加藤ノ兩姓
アリ伊藤ハ世々當村ニ住居ス今甚兵衛トイフ農民
是ナリ加藤ハ八東郡皆原村ノ百姓徳一郎トイフ者
其末ト云、リ猶佛閣記委シ

岩倉村

戸數三十六軒

氏神高宮大明神 祭日

末社辨賊天 祝神三社 荒神社

佛悟山即心寺 黄檗禪本寺 鳥取兵禪寺

報國山大應寺 同上

觀音堂本尊 觀音 茶師

草庵

古城在道場山

卯垣ヨリ六町余南ニアリ滝山ハ十五町也岩倉ノ故

事首卷ニエタレハ此ニ畧ス扱當村ニ大深フケ小深ト
イフ田地アリ是ニ十ム昔稻葉川此山下ニソフテ流ケ
ル其川跡今ニ残テ深田トナレリケルトゾ

奥谷村

戸數二十三軒 辻堂本尊地藏

敷運上寺又貳分

宇倍山運上三斗三并九合

氏神追詰大明神オヒツツ在宮下村

撰社 荒神二社 無社

光仲山清源寺黄檗禪本寺城州黄檗山万福寺完真禪寺兼帶

御當家御代々御廟在境内

圓通庵 真禪寺持

古城主不知古城部ニ記ス

土産 櫻

岩倉村ヨリ四丁南ノ山子ニアリ村ノ奥ヲヒバノ谷
ト云ヒバハ木ノ名擢ヒバ欵又卷柏イハヒバ欵今記テ芝谷ト云里
民口碑ニ昔此谷隘ニ寺千軒アリ皆一宮繁昌セシ時
ノ神宮寺ナリシト云リイフカニ按ルニ昔此辺ニ專
称寺ト云寺アリ之更古記録ニミエ若此等ノ寺号ヲ
開キキアヤリ誤イフニヤ

清源寺 九祿年中伯州久米郡和田村定光寺末寺ノ古

寺号ヲ引テ御建立アリシ也即光仲山ハ興禪君御諱

十ノ寺号ハ清綱君光仲君御諱御法名清源寺殿ト号

スルヲ以テ也興禪君以来御代々御廟所此寺ノ境内

兩谷ノ隘ニアリ委シクハ佛閣記ニ詳ナリ

宮下村

戸數六十七軒

氏神宇倍神社一宮是也祭礼執行春秋二季三月八

祭神武内宿禰 神主 伊福部氏

同追詰大明神オヒフメ

同坂下大明神サカオリ

末社神有數座畧之

岩常山無量光寺洋土本寺鳥取真教寺

稻葉山 龜金山 稻葉川 許天年河原 宇倍山

五倫之塔 同於保茂之墓 因幡小鍛冶景長屋敷

同上

御制扎場

名産 银杏キハツメ 在宇倍宮 三度實栗ナリ 在宇倍山

奥谷ヨリ二町許南因幡山ノ麓ニアリ国府ノ宮ノ下

ト云當処旧ノ名龜金里也宇倍ノ宮ノ麓ナリ故宮下

ト云、ナリ又国府ト云ハ上古王政ノ時国司此処ニ在
レテ国事ヲ視ラレケル一國ノ都府ナルヲ以テナリ
村ノ口ニ御制扎場アリ里堡アリ鳥取城本ヨリ一里
トス

宇倍社 當國ノ一宮是ナリ延喜式神名帳曰因幡國名
神大在法美郡稻葉郷宇倍山云云神社啓蒙曰一宮記
曰武内宿禰也又神名帳頭注曰風土記曰仁德帝治五
十五年春三月武内宿禰御歳三百六十餘歲當國ニ御
下向於龜金双履残御隱冥不知フ名クツノコリテミカクレトコロ諸神記曰不知下ニ
說畧此神社考及歴世ニ詳ナリ

稻葉山 或ハ稻羽山又因幡山トモ書リ通シテ同之是

稻羽郷ノ山ナルヲ以テ也本名字倍山也或云宇倍神
社鎮座ノ山ナレハ然シカイフト云說アレ氏古来地名ヲ
呼テ神号トスル例ナレハ本来宇倍ハ山ノ名ナリ大
成旧事本記神社本記ニ因幡國鷓ウバ部神社トアレバ宇
倍ハ仮字書ナリ延喜式神名帳皆此例也又土人上野
山云ハ倍字ノ片仮字濁ヲ畧シテウヘノ山ト書ケル
テ文字ニ受テ上野ト誤書ケルトニヤ又或ハ此山上
坦平タムヘイナリ度渺沱ト野ノ如故ニ上野トイフトノ說ノ
如キハ臆按ノ中ニモ僻說ト謂ヘシ昔ハ松樹陰深ク生

ツ、キシカバ歴代ノ名通歌ニモヨメル各山ナリ委
クハ別卷名所ノ部ニ記ス

稻葉川 許天年河原

國府川ノ事也稻羽郷川ナルヲ以テ名トセリ山ヲ稻
葉山トイフニ同シ源ハ大草郷雨滝ヨリ發シテ其流
下ヲ鳥取ニテ袋川トイフ也扱此川ノ東ノ側ヲケテ
ハ河原トイフ刈民相傳昔此処ニケテムト云鬼神住
ケルヲ一ノ宮神是ヲ誅罰シ給其跡ト云リ按ニ日本記
景行天皇十二年冬十月碩田國征伐ノ時ノ文畧ニ曰
則採海石榴樹作推爲兵因簡猛卒授兵推以穿山排草

襲石室土蛛而破于稻葉川上悉殺其黨血流蹀至ル故
時人其作海石榴推之處曰海石榴市血流之處曰血田
也畧ス此文ヲ考ニ血田ハ即ケテムナルヘシ是人ノ
名ニアラス地名也本文亟謂稻葉川ノ上ニ破ルト海
石榴市ハ八上郡散坂村ニ其地名アリ其他當國ノ地
名全文ノ亟載十ノ七八ヲ存ス又碩田國ノ論等具ニ
歷世考ニ記シテ爰ニ略ス

五倫之塔 ウベノ山ニアリ巨濃郡ヨリ往来スル道ノ
側ニ方二三間許土ヲ盛テ五トシ其上ニ小宝經印塔
ヲ安ス以前ハ側古松一樹ノミアリシガ近比小松生

茂ヲウウツテ翁鬱ノ地トナレリ土人上野ノ五倫トテ崇敬ス
此墓何イツノ世如何十人ノ墳墓ト云、フムホ知人ナシ里人
口碑モ數説ニテ事長ケレハ古墳ノ部ニ記シテコ、
ニ畧ス

因幡小鍛冶景長屋敷 宇倍山谷隘ニアリ宇倍山ト宮
下ヨリ上道トノ中間セバガ沢ト云、ガ処ナリ景長ハ粟
田口藤右馬允カ末弟吉正ヨシマサガ一流ニテ系図釣ツル之同名
三代アリ初代ハ後醍醐朝ノ鍛冶トアレハ至テ今五
百年ニ迫シ代々小鍛冶号ヲ免サレタル名鍛也此外
八東ニ鍛冶屋村高草湖山村竹生村メケナリニモ小鍛冶屋敷ト

云処アリ系図ニ兼長幸長清長上基等ノ銘皆景長ニ
釣ツル之是ヲ以テミレハ末ニ至テソレク居所ヲ易ヘタ
ルナルベシ慶長中迄此処ニ及テ焼タル湯舟トテ大
石舟アリシヲ池田備中守殿ノ時鳥取城内ニ引セ
ラレテ今ニアレハ三代氏此処ニ栖スミケルナラム今鳥
取桶屋町修驗本覺院ノ本尊茶師佛ハ景長カ持佛十
リニヲ由緒有テ讓リテ受テシ支委シ佛閣部ニ記之
オフニ之墓 景長ガ墓ト云、リ古墳部ニ詳之

大杭村
戸數

氏神稻穂大明神

慈雲山龍泉寺 曹洞禪本寺鳥取景福寺

正徳三年建立 閑山萬林伯州八橋 退休寺西未院
末寺号ヲ以テ建立

産物 荷ノ葉

矢津洲袋川ヲ隔テ西ニアリ昔国府川三枚橋ノ筋ヲ
流ケル時ハ矢津ト村ツバキナリ村名大杭トイフハ
聖武天皇ノ御代ニ諸国田地ノ位ヲ定玉時東国ハ吉
備大臣西国ハ僧ノ行基 詔ヲ奉シテ每国ノ土地ヲ
巡見シテ其法ヲ制ラル先一國ノ正中ニ大^{マナカ}杭ヲ立
テ其ヨリ四方田地ノ上中下ヲ割出^{ドクイ}土代ノ法ヲ立テ

租税ヲ定ム當国ニテハ此地ニ杭ヲ立ケル故逐ニ呼
テ処ノ名トセリトリ太平記大全ニ行基 勅ニ依テ
諸国ヲ遍歴シテ田畠ヲ分町畝歩ノ法ヲ制シ年貢ヲ
定士庶民衣服ノ染色及寸尺ノ長短飲食ノ分量器賦
ノ定式武具馬具太刀刀ノ飾等ニ至^{ナカリ}マテ法令ヲ下^{ツク}サ
レシテ書尽スベカラス是等ヲ以テミレハ大杭ノ制
中度モ疑ナキモノ欵

中郷之郷十ヶ村

安田村

戸數二軒

氏神三宝荒神

宮下ノ川向中郷村ノ下續ニアリ昔ハ民家七軒計アリシ由近年亡ルレタリ

中郷村

戸數四十七軒

氏神武王大明神

白山権現 稻荷 今宮 若宮 荒神二社

水澤山龍吟寺 浄土本寺 鳥取真教寺

観音堂

産物 石切 細工

安田村ヨリ一町許東ニアリ宮下ト稻羽川ヲ隔テ相對ス其渡ニ板橋アリ長四十間国分寺ハ七町許當村鉢屋石工細工ヲイト十八ハチヤイシキリ

國分寺村

戸數

氏神細男大明神祭日

横社在二社 又若宮二社 辨財天

最勝山国分寺 黄檗禅本寺 鳥取真禅寺

土産 竹藪

中郷村ヨリ七町許西南ノ山下アリ是ヨリ法華寺ハ

八町也村、名、国分寺ノ寺号ヲ呼也。聖武天皇天平十三年、每州ニ国分寺ノ御建立ノ旨續、日本紀ニ委當時ノ寺領、墾田一千町也。今ニ至テ千歳餘、黍^{タイ}モ、勅願ノ蘭若^{ラニト}タリ然^ニ中比ノ兵乱ニ顛^{タイ}顛^{レン}シ、今一草庵有テコレヲ国分寺ト号ス。本尊、茶師如未十リ貌焉。タル星霜幾度ノ盛衰ヲ経テ、其名ヲ存セリ。今モ、回国ノ修行者、尋子未テ大乗妙典ノ札ヲ納ム。殊勝ト謂^ツヘシ。傍^{カクハラ}大塔ノ礎^{イシユ}モ残レリ。委^イ佛閣記ニ云

三代寺村

戸數三十軒 堂 本尊 阿弥陀

氏神 白髮大明神

接社 稻荷社 荒神 大將軍

土産 土柳

杉崎村

戸數

氏神風宮大明神

妙見社 荒神無社 祝神無社

大谷山深相寺 真宗本寺但刈豐岡光行寺

古城猪子山妙見山
在ニヶ所

三代寺ヨリ西南ノ谷ノ口ニアリ村ヨリ櫻谷へ十二

町許ナリ今在家ニ筋違道十五町櫻谷ヲ廻レハ十八

町許ナリ當村百姓長左衛門ト云者ノ後園ニ巖ヲ切

スキタル井戸アリ旱魃カムハラトイヘ凡水湛淳ケムフト溢テ一糸

素流ソリウトナル冬暖アタカニ夏冷ヒヤカナリ清絮ナル事底ニ徹

シテ細砂ヲミルサレバ昔ヨリ當国ニ霧井ト云名井

アリト云傳テ其在所シレス今此井ヲ名ヅケテ霧井

トスル説アレ凡不分明鳥取城内山巔ノ大井津ヲ霧

井トイフハ尤旧説ナリ

古城 在猪子山城主別所彈正ト称ス又妙見山ニモア

リ秋里玄蕃允城跡也古城ノ部ニ委シルニ早人

餘戸村ヨド

戸數

氏神風宮大明神

攝社 稻荷 荒神無社 別宮 荒神 祝神無社

杉崎ヨリ 奥ニアリ生山へ二町許ナリ村名餘戸

古郡ノ大上中下小ヲ定玉時數カリへ其割餘タル

ヲ餘戸トイフナリ首卷ニ委シケレハ此ニ畧ス

生山村シヤウサン

戸數

氏神 槻折大明神祭日

延喜式神名帳載之槻折神社是也

横社 稻荷 荒神無社各

餘戸ヨリ二町許、奥谷ノ詰ニアリ當村大ナクメ地

アリ生山ノ堤ツミト云射鯰フナノウキアリ春秋ハ雁鴨カモ等救多此

池ニツキテ獵スル人多シ村ヨリ三代寺ニ越

町ナリ

今在家村イマノイヘ

戸數

氏神 牛頭天皇 祭日 九月九日

横社 荒神社ニ

當村ハ國分寺ヨリ 北ニ離テクモ蜘蛛山ノ東ノ麓ニ

アリ大杭今在家櫻谷正蓮寺蜘蛛山北五ヶ村ハ蜘蛛山ノ

スソヲメクリテアリ當村東北ハ袋川ノ流アリ岩倉

一二十町許ナリ

櫻谷村

戸数

氏神鎮守大明神祭日九月荒神三社也

攝社十稻荷辨財天

今在家ヨリ六町許南隣ナリ

正蓮寺村

戸数

氏神武王大明神祭日九月八日

攝社八大荒神荒神各無社

護國山多聞寺曹洞禪本寺身取景福寺

本尊毘沙門天惠心僧都作

面影山毘沙門之窟比丘尼屋敷

正蓮寺旧跡即多門寺是也

櫻谷ヨリ南六町許正蓮寺山ノ麓ニアリ當村ハ旧寺

跡ナリ其寺号ヲ呼テ村名トス今ニ村ノ敷地ノ底ヨ

リ焼タル材木灰々ヨリ出ルハ其故ナリ

面影山蜘蛛山ノ東ニツキテ峯ノ鋭タル山ナリ

土俗中村山ト云又正蓮寺山庄云是ナリ當國ノ名

所也歌書ニ因幡國面影山或ハ伴山トモ書リサレト

何レノ山ナル夏明カナラサリニ當村老民口碑ニ
昔此山下ニ面影山正蓮寺ト云、寺アリ山号面影山ハ
即此山ノ本名ナリ又此山ヲ詠ル哥トテ昔ヨリ此里
ニ云傳ヘタル歌ニ首アリ

因懐ヨク心ヲ寄ル一ノ山ノ名ヲ詠ル哥トテ昔ヨリ此里ニ云傳ヘタル歌ニ首アリ

志ヲ寄ル一ノ山ノ名ヲ詠ル哥トテ昔ヨリ此里ニ云傳ヘタル歌ニ首アリ

面影山

按ニ初ノ因幡ヨトノ歌ハ夫木集ニ出タル古歌ナル
ヲ農夫ノ世々ニ傳ヘタルモ不思議ト謂ヘシ或ハ伊
山ハ邑美郡今ノ御本陣山ト云又鳥取ノ城山ノ夏氏
云説アレ氏御本陣山ノ本名ハ帝釈山オウシキヤマナリ城山ハ久
松山ト号スル事昔ヨリ分別ニシテ異論ナキモノ歟
委ニ名ヲ考ス卷ニシユ
毘沙門之窟イハヤ多門寺毘沙門堂ノ後ニアリ横一間許ノ
小キ窟ナリ窟上ニ推椿シイバキノ古木生茂レリ樹ノ根石窟
ヲカラエテ殊勝ニモノ古アリタリ是ハ昔一條院御宇長
保ノ初惠心僧都遍參ノニキリ正蓮寺ニ止宿アリケ

ルニ其比隣邑蜘蛛山村ニ本願寺ト云、寺アリ其大門ニ
一本杉トテ名高古本アリ杉跡蜘蛛山西南山下在四堂上毎夜光ヲ發
ス時ノ人光杉ト名ク惠心其杉ヲ以テ十二日ヲ限、天
王吉祥ニシ獄師三尊ヲ彫刻シテ正蓮寺ニ安置ス然ニ延
元二年長保ヨリ三百三十九年ニ至二月九日ノ夜兵火ニ冬上ス其
時三尊ヲ彼ノ窟ニ匿シテ僧侶ハ皆退散ス其時ニ當
テ正蓮寺タイテム想轉セリ其ヨリ六年康永元年十月二日無
外方ト云、行脚ノ僧正蓮寺ノ廢跡ヲ尋子來テ山上ノ
樹下ニ通夜シケルニ土崩テ岩ヲタ、ムノ地ヲミル
明レハ三日村民ヲス、メコレヲ穿テ窟ヲ閱テ三尊

ヲ得タリ行脚ノ僧ニハラク留足リ勸化シテ小堂ヲ
再建シ本尊ヲ安シ且其由来ヲ記去ストソ今ノ多聞
寺ノ毘沙門天是也委ク佛閣記ニミエ
八百比丘尼屋敷 面影山ノ絶頂少シノ平地アリ昔此
所ニ八百比丘住ケル跡ト云傳ヘタリ上世ノ事トカ
ヤ此里ニ一人ノ老婦アリ近縣大路山ノ禁胤ノ窟磐
昌ノ時モテナシニ遭テ行ケル膳具ニ人魚ヲ備フ老
婦是ヲ奇テ不食私ニ懷ニシテ家ニ歸ル其兒一人ノ
女子アリ彼ノ魚ヲ食フ母驚其アヤシキニ因テ不食
更ヲ語サレ氏何ノ患モナシ其女子遂ニ長壽ヲ保リ

世ニ謂フ八百比丘尼是也ト按ニ此説扶桑隱逸傳ニ
出タルニ髣髴セリイフカシ総シテ比丘尼屋敷比丘
尼城トドイフ國中死スアリ皆無毛ノ山ノ俗稱ト云
其理能ク通ス

津井郷 七ヶ村

禰^ネ疑^ギ谷村

戸敷

氏神

三本松 蒲冠者範頼朝臣之墓

古城 在伊上山麓

鳥取ヨリ若櫻街道ノ駅ナリ鳥取ヨリ宮脇マテ二里
三本松へ二里八町トス村ヨリ八上郡西門尾村へ坂
越十四町ナリ禰疑谷ノ事歴世考ニ記ス

蒲殿之墓 禰疑谷村ヨリ三本松ノ坂へカ、レハ右ノ

方ニアリ高三四十間許蒲鉾形ニ作タル丘ノ上ニニ

坂ニ生タル古松アリ松下ニ宝経印塔ヲ安スル是也

松ノ圍根本一丈五尺餘碑碣高二尺五寸五分夏ハ別

卷図會ニ委シ

三本松 法美八上兩郡界ノ誌ナリ禰疑谷ヨリ門尾へ

越城ノ嶺道ノ右脇ニ老タル一樹アリ是ニ何ノ世是
ヲ植ケルニヤ知モノ無シ民談記ニ松ノ高十余丈有
テ木ノ太三人ニテ抱程ヤレカドトナリ西郡ヨリ一本ヅハ持
来植ケルガ一本ハ二戻ニオヒテ今ハ三本トナル也
ト記セリ又古記録ニ三本松上松一丈二尺廻中松一
丈七尺廻下松一尺二尺廻ト記セリ又土人口碑ニ元
文中雷震シテ二本ハ焦爛ヤケスレテ枯タル木立久シク
有ケルカ何爾伐スイッレカキテ其跡モナシ残ル今ノ一樹モ
其後又雷階カニナリアマツテ半ヨリ梢ハ朽木トナレリトイヘリ今
ノ木ノ太根本ヨリ四五尺上ノ圍一丈七尺也寛政此

一樹ハ祢疑谷旁尔干レハ彼古記ニ下ノ松一丈二尺
廻リトアルハ此木ノ更十九ヘシ廿四五年前八上ノ
方ハ二本植ワヘ昔ノ数ニヨミタシケルトナリ
香取村カトリ

戸数二十六軒
氏神意上神社 延喜式神名帳載之
古城 在伊上山イノノ禁

祢疑谷ヨリ六町四十五間下ニアリ若櫻道ナリ村外
ニ花表アリ意上神社是ナリ花表ヨリ本社迄十一
町余深林ノ中ニ鎮坐アリ神社考ニ
詳ナリ

古城 福田新三郎光信居城ノ跡ナリ平城ニテ構ノヤ

ウスシレス

紙子谷村 カコタニ 古記ニ神子谷トアリ

戸数三十七軒

氏神意上神社 在香取村

観音堂 三龜山光雲寺廢跡也 因幡順礼十七番礼処

福田墓

香取ヨリ二町廿四間下ニアリ若櫻ヘノ往還筋ニテ

如山ヨリ三十一町五十四間トイヘリ

福田墓 村ノ前ノ田土ノ中松林是ナリ福田光信代々

ノ葬所ト云リ昔ハ此辺ヲ領知シテ數代相續ノ國侍

ナリト也世治テ後農人トナリ此村ニ栖ケル近年

マテ繁昌シケルガ今ハ零落シテ有トモ言ニ豆ラス

三滝山光雲寺 本尊観音長一尺七寸雲慶作ト云ヘリ

此寺何ノ世ノ関基ト云事ヲ不知弘仁以前ハ光雲寺

六坊トテ繁昌ノ道場ナリトカヤ元弘ノ乱ニ想廢

シケルヲ延徳三年福田信三郎光信ト云ル津井郷ノ

領主コレヲ再興シケル由其後天正中秀吉公来伐

以来衰滅シテ佛閣僧坊跡形ナク本尊ノ殘玉ヒテ

今草庵ニ安置ス委シハ縁起ニミヘタリ因幡順礼十

七番ノ札取是ナリ

廣岡村

戸数

氏神八代荒神

紙子谷ヨリ

村名廣岡ハ平岡ノ誤ナリ是ハ春日四取明神ノ故事

ニ因テ香取平岡トツバクベキナリトイヘリ

舟木村

戸数

氏神牛頭天皇

廣岡ヨリ五町ハカリ下アリ但本村ハ街道ヨリ西ニ
スサリテアリ若櫻道ニテ紙子谷ヘ十四丁五十二間
トス香取ヘ十一町バカリナリ道ノカタハラニ出茶
屋有テ馬駕ノヤスミトコロトセリ是ヨリ邑美郡ノ
サカヒマデ十三町四十六間サカヒヨリ東大路マデ
十町十四間スベテ二十四取ナリ邑美ノ久末村ヘ四
町廿三間トイヘリ

海藏寺村

戸数

舟木ヨリ六町ハカリ道ヨリ東ノ山際ニアリ舟木ト

差向十リ

桂木村

戸數

氏神午頭天王

撰社山王 荒神 無社

光壽山吉祥寺 黄檗禪本寺鳥取真禪寺

海藏寺村ヨリ山越

東ニアリ生山餘戸杉崎ノ

谷隘十リ古記ニ葛木トアリ葛木ハ姓氏録ニ載之上

世人ノ姓十リ故アル地名十ルベシ

因幡志卷之三 末

因府侍醫安陪 惟親 恭庵編

郡郷之部

法美郡廣西郷十箇村

法華寺村

戸數十三軒

祭神天神荒神

氏神多胡大明神廣西村在

法華寺旧跡 犬塚

古城

中郷ヨリ

南^{イマキ}今衣山西ノ麓ニアリ國分寺ト東

西相去事八町十リ法華寺ハ旧寺号ヲ呼十リ 聖武

天皇天平十三年國別令造國分金光明寺法華寺續日

本紀ニ云工國分寺ハ僧寺法華寺ハ尼寺十リ 孝謙

天皇天平勝宝元年諸寺墾日ノ地ヲ定ラル、ニ法華

寺ニ四百町十リ赫々タル靈場十リシモ中比絶テ其

名ノミ里ノ名ニ残リ當村百姓福田六兵衛ト云者昔

法華寺ノ門ノ礎十リトテ午水鉢ニ作テ取持セリ柱

ヲ受タル取徑リ一尺七八寸圓相ニ彫起シタル跡下

ヨリ其重古ノサマ殊勝十八言語道断十リ其外ニモ

数多有ケル由先年鳥取町外常忍寺建立ノ時其石ヲ

取望ニ因テ不残彼寺ハ運送ニテ今ハ一モ無ク十リ

ニトソ事ハ佛閣記ニ具十リ

犬塚 國分寺ト法華寺トノ間ノ道ノ側ニアリ昔ハ五

倫ノ碑碣アリテ累々ト苔ムシタリシカ何人ノ取爲

ニヤ盗ミ去リトゾ其後天正年間福田彦左衛門ト云

ル當村ノ百姓再真之十リ此狗子國分法華兩寺ノ間

ニ一時ノ飯鐘ヲ聞テ途ニ迷此処ニ悶工死ケルト今

此碑銘ニ就テ其年歴ヲ考ニ五十二代 嵯峨天皇御

代弘仁年中十リ其土俗ノ傳ル事于今千年ニ届トス

其故事ノ混セサル不思議ト謂ヘシ事ハ別卷古墳図

會ニ具ナリ

今衣山ノ村ノ上ノ孤山ナリ古城ナリ此山ノ名太閤記

ニ今木ト書村民口碑ニ昔此山ニ木多ク重稻ヲ植夕

ル如クナリ之故稻木山ト云テ記テ今木山ト書ニト

云リ僻支ナリ昔ヨリ傳記録ニハ今衣トアリ是ハ古

此処ニ今衣大明神ト号スル神宮アリ今絶テ無シト

云、凡上世地名ヲ呼テ神号トスルノ例ニテ今衣ハ此

里ノ本名ナリ其地ノ山ナリヲ以テ今衣山ト云也

聖武帝以來法華寺ト云、大伽藍ノ名ニ今衣ノ本名カ

クレテ野モ山モ法華寺ト云ナレ今衣ノ名義故実ア

ルナナルヘシ又此山古城趾也天正初山中鹿之介居

住シ後ハ秋里左馬允住リ古城部ニ詳ナリ

廳村

戸數十五軒 過堂 觀音 毘沙門天

祭神荒神 若宮 社ニ 大將軍 社無 道祖神 社無

氏神多胡大明神 在廣西村

中郷村ノ南ニアリ其間一町許町屋村ニモ程近ニ村

ノ名廳ハ往古政 王家ヲ出ニ時官ノ廳ノ跡ナルヲ

其終里ノ名ニ呼ニ事ハ首卷ニニ工

町屋村

橋本村

戸数 橋本十四軒
本七軒

王辻堂 本尊
藥師

大將軍 荒神 辨賊天

氏神多胡大明神 在廣西村祭日九月廿九日

龍住山正雲寺 曹洞禪本寺鳥取天德寺

コシキ 甑山 古城 幡フルイノ橋跡 在橋本村

廳ト道ヲ界テ二町許東ニアリ宮ノ下ヨリ二町四十

間川ノ南ニアリ町屋ト云ハ國司京ヲ下テ國府ニア

ラレシ時ノ官市ノ跡ナリ今謂城下ノ町ニ同シ其迹

絶テ名ヲ傳タルモ幾ノ星霜ヲ経ケルニヤ

幡フルイノ橋 橋本村ノ前因幡川ニカ、レル獨木梁

ノ名ナリ昔國府ヨリ川向廳町屋へ渡リノ大橋ナリ

シトゾ中昔ノ比橋絶テ其ヨリ獨梁ヲ渡シケルナリ

是ヲ幡フルヒノ橋ト云傳テ故アル名義ナルヘキニ

仔細知人ナシ

コシキ 甑山 橋本村ノ上外道ノ側ニ蒲鉾形ノ嶮山ナリ 東ハ

旁ハ西ハ 町屋構也 甑山下号スルハ昔武内宿禰當國征伐ノ時

高草ノ鍋山ニ鍋ヲス工此山ニハ甑ヲスエラレシ曰

迹ト云傳タリ近代永祿元龜ノ比雲州浪士山中鹿之

々此山ニ城ヲ搦工鳥取ノ武田高信ト合戦シタル古

城址ナリ又此山ニ毎歳六月廿四日ノ夜松明ヲ燃ス
事例ナリ中郷町屋廳三村ノ百姓松明ノ数二百四十
束一人一束ヲ携之一度ニ火ヲ燃シ東西ノ禁ヨリ
上リテ嶺ニテ行合其処ニ長三四間許ノ大竹ヲ立字
頭ニ松明ヲ結付テ是ヲ嶺ノ誌トシテ各一束ヲ燃シ
尽ナリ其光炳焰ト蒲鉾形ニ三四里ノ外ニ明ニ其事
ノ起アリ奇説之古城部ニ具ナレハ爰ニ略ス

龍口 甑山ノ東面半腹ヨリ上ニアリ岩石龍面ノ如中
ヲ聞咽ニ穴アリ因テ龍ノ口トナツク里諺ニ此龍ノ
口ノ向タル方ノ田地ニ昔ヨリ稻登ルナトイヒ

フレテ近年其下カマキヲ打落シケリト無下ナリ
トモナリ

靈火 甑山東ノ麓ニ於津谷ト云畑アリ其処ニ一畝許
ノ間竹林アリ其中ヨリ毎夜火ノ玉飛出テ空中ヲ歩
行ムカ如ク高岡村ノ板橋ノ本ニテ忽然ト消失又是
レハ昔此辺ニ西垣太郎兵衛或長兵衛トカヤイフ郷士ア
リケルカ甑山ノ禁ニテ高岡ノ郷士某ニコロサレケ
ル其亡魂離ラムクハムトテ今ニ如此トイヘリ此類
何国ニモアリト云當国ノ中ニモ亦ニ靈火ヲ発ス
メツラシカラス

廣西村

戸数五十三軒 辻堂 本尊 藥師

氏神多胡大明神

延喜式神名帳載之多居乃上神社是也

撰社 辨財天 小宮無社 稻荷 荒神二社無社

町屋ヨリ十町許リ南本谷筋ニアリ麻生ア、リ十町許リ也

氏神多胡大明神ハ當国五十座ノ一社ニテ法華寺廳

町屋四村ノ氏神ナリ此氏子モシ章魚ヲ食ヘハ祟ト

云テ昔ヨリ不食トナリ

玉鉾村

トム田

戸数二十八軒 辻堂 本尊 觀音

氏神鉾大明神 祭日

撰社 辨財天 稻荷 荒神六社内無社

榮國山幽芳寺 黃檗禪本寺 島取真禪寺

寺領本入四十俵

廣西ヨリ上ノ山際ニアリ谷村ハ川越四町許リ

ナリトム田ト云支村アリ村ノ名玉鉾ハ神号ヲ呼モ

ノカ故実アル名義ナルヘシ又當村ト法華寺トノ間

ノ山ノホトリニ造生寺ト号スル寺跡アリムカニハ

大寺ニテ其寺ニツキタル村落アリシヨシ今ハ人家

ノ跡モシレス
麻生村

戸数十六軒

穢多村三十八軒

圓樂山地福寺

臨濟禪本寺鳥取廣徳寺

産物 牛馬皮

穢多村製之

玉鉾ヨリ川越六町稻葉川ノ東ニアリ宮下ノ一里冢

ヨリ二十四町十リ穢多村ハ村ノ下ノ口ニアリ但シ

甑山ノ麓ニ分道アリ東ニ曲レハ三谷村十リ麻生ハ

直道南ニ通十リ川向ノ町屋村ハ十八町川ノ但町屋村ハ

山崎村ハ一里半トス

糸谷村

戸数十六軒

辻堂 本尊 薬師

氏神山王七社

祭日九月九日

狐津姫命 大宮姫命 羽山戸命

祭神軍功安命 大冢神 番山戸神

武弓守神

麻生ヨリ六町東宇倍山ノ支谷ニアリ高岡ハ五町十

リ村ノ東ニ神護村ハ通山道アリヲキノボリトイフ

一里余十リ當村氏神山王七社ハ往昔ノ齊社ニアラ

ス元龜天正ノ比山中鹿之助幸盛甑山在城ノ時布勢

ノ山王二十一ノ内七社分テ此処ニ遷シ祭りケルト
云傳ヘタリ
長流寺廢跡 昔此里ニ祭谷山長流寺トイヘル古刹ア
リ開基ノ時代不知中比末マテハ繁昌ナリシカ天正
前後ノ兵火ノタメニ燔滅シテ跡形ナクナリシトゾ
今谷村ニ安置スル峯ノ觀音ト称スルコゾ其寺ノ本
尊ナリトイヒ傳ヘタリ昔ノ境内百二十間四方トカ
ヤ近年其寺跡ニテ鏡鉢銅羅十ト掘出シテ麻生村ノ
地福寺ニ納テ今ニアリ

高井村

戸數十四軒

辻堂

觀音
茶師

氏神牛頭天王

在高岡村

祭谷ノ下十三町宇倍山ノ支谷ニアリ麻生へ十町許

祭リナリ

高岡村

森原野
地葉田中

東土居
以上七村

中土居
西土居

戸數六十九軒

辻堂三

森原
阿弥陀

中土居
地藏
觀音

氏神午頭天王

遠山松

産物山屋根葺萱

高井ヨリ二町許リ宇倍山ノ南ノ谷隘ニアリ此村ハ

小名多ク七村ニ分ル今西土居ヲ本村トス三谷へ八
町追掛山ヲ越レハ近道アリ麻生へ本道六町許リ十
リ氏神午頭天皇ハ國中天皇社ノ中第一ノ靈神ニテ
昔ハ神領モ多カリシトカヤ古郷村ノ記録ニ高岡社
トシテ村ト書サルハ右ニ記ス七邑ハ此神ノ聚落十
ル故十ルベシ

遠山松 村ノ奥宇倍山ニアリ古タル一樹ナリ想フニ
因幡ノ遠山松トイフ諺アレハ然イヒナラハセルニ
ヤ土人ハ天狗松トモイヘリ巨濃郡左近村ノ山ニモ
遠山松或ハ天狗松トイヘル老樹処々ニアリ旧法

美郡内ニテ此辺皆稻羽山ノ内ナレハ十ルヘシ

三谷村 戸數四十七軒 辻堂 本尊 藥師

音氏神武王大明神

延喜式神名帳載之美歎神社是也

觀音堂 三谷山福田寺廢地也

姫塚

追掛山 小鍛冶屋鋪

滝

産物 荒砥石 卷栢 瘤梨子

高岡ヨリ八町西宇倍ノ山ノ谷隘ニアリ宮下ヨリ十
六町兩村自麻生ヨリ半里十リ匿道八町十リ此谷ハ
甑山ノ麓ヨリ東へ通りテ奥へ一里餘詰リハ宇倍山
十リ其如小キ滝アリ奥ニ記ス

三谷山福田寺廢地 追掛山ノ麓ニアル觀音堂是十リ
昔ノ境地百間四方今ニ免地トス本尊八臂ノ觀音座
像十リ長九寸六分金佛十リ花觀音或ハ雀觀音トイ
へリ相傳フ昔三谷川ノ傍ニ老タル柳一樹アリ自朽
倒レテ流ニ横タハリテ塞ト十リ村民根モトヨリ是

ヲ伐捨ケル其後切株ヨリ芽ヲ出シテ花ヲ開ク時ニ
雀來リテ其花ヲ啄ム其數日十リ土人奇ニ其切り株
ヲミルニ觀音ノ像依然トシテ出現シ玉フツレヨリ
カク名ケルトニヤ是中比ノ乱逆此寺頽廢ノ時本尊
ヲ彼ノ柳ノモトニカクニ置ケルカ成木シテハラミ
木トナレル十ルヘシ又此觀音ノ臺坐ノ銘ニ曰因州
法美郡三姫村住人井垣八右衛門八右衛門ト彫刻セ
リ按ルニ今郡中ニ三姫村トイフナシ當村ノ事十ル
ニヤ年号無ケレハ時代不知想フニ此里ニ姫塚ト号
スル旧迹アリコレ等ノ故吏ニ因テ三姫村ト書ケル

ニヤ延喜式神名帳ニ此地ノ氏神ヲ美歎神ト記セル
ハ三谷ハ仮字書ナリ是地名ヲ呼ノ神号ニテ寺ヲ三
谷山ト号スルモ同シ故ヘ十以然レハ三谷ハ旧キ地
名ナルニ三姫ト書シハ故アル莫ナルヘシ若ソレ三
姫ヲ三々ニト讀ヘキ和訓アリヤ未知
姫塚 追掛山 今地藏ノ北ノ麓ニアリ 福田寺ヨリ半町
許リ西ノ山スソナリ道ヨリ一二間上ノ段ニ少シノ
平地アリ其処ニ姫塚ト云傳ヘタル一丘有シトニヤ
天明年中マテハ高サ五尺許リノ切石ニテ作りタル
窟ノ崩レタルカ切石モニ枚残りテアリシ由今ハ其

モ無ナリ唯鬱蒼ト草木生茂タリ何ノ世如何ナル人
ヲ葬ケル誌ニヤ仔細知人ナシ

砥石場 自踏丸九町許リ奥ヘ谷川ノ少シワバ廣キ処
ニアリ昔小鍛冶景長宇倍山ニ栖ケル時此処ニヨキ
荒砥石有ケルヲ初テ見出シ是ヲ取用ケルカ其ヨリ
人知之ケルトツ今ハ乏シ

滝 砥石場ヨリ踏丸奥ヘ十町許リ谷ノ切詰ニアリ高
ニ丈余滝ノ下ニ石像ノ不動尊ヲ安ス其流下ニ三谷
川トイフ村ノ中ヲ通りテハ又田トイフ支村ノ上ニ
テ高岡川ト落合 甑山ノ麓ニテ稻羽川ト一ツニナル

土人口碑ニ滝上ニ毒石アリ人はニフレ、ハ害アリ

トイウハ...

追掛山

...

...

...

...

...

...

...

谷村

登儀郷八箇村今増松尾村爲九箇村

戸数二十四軒

氏神十二社權現 祭日九月九日

道祖神荒神 祭日八月廿八日

寶生山圓城寺 天台本寺鳥取觀音院

大峯之觀音 行基作

因幡順礼十八番之札所

三角山

大草ノ本谷筋ニテ川東ノ山際ニアリ麻生ノ上五町
二十間トイヘリ糸谷ハ六町高岡ハ八町許リ村ノ上
下ニ出茶屋アリ村ノ上八町許リ清水村旁尔ノ海道
小川ニ掛レル獨梁ヲ梶原橋トイフ橋ノ此方ニ里堡
アリ国府ノ一里冢ヨリ一里トス清水ト谷村ノ旁尔
界ハ村ノ上三軒茶屋ヨリ一町許リ上ニアリ
峯之觀音 村ノ奥八町許リ山上ニアリ本尊千手觀音
行基ノ作ト云傳ヘタリ此本尊ハ前ニ記ス昔糸谷村
長流寺ニ安置スル所ノ靈佛ナリシトカヤ谷村ハ本

糸谷村ト一邑ニテ此山奥ニアリシ時谷村ニハ茶師
堂アリ糸谷ニハ長流寺アリシカ天正ノ兵火ニ兩寺
トモニ燔滅ス其時村民兩寺ノ本尊ヲ持去リ觀音ヲ
此山ニ安シ茶師佛ハ糸谷村ノ辻堂ニ入置タリシト
ソ其後民家兩村ニ分レケルトモニ尊ハ入換リ玉ヒ
シ終ニテ今ニ御坐ケルトニヤ
三角山 村ノ上三軒茶屋ノ前街道端ノ山ナリ南ノ麓
ニ喚岩ヲミル九景象三角十山ナリヨク心ヲトバメ
テミルヘシ孕ル子山幾重モ三角ニ峙リ故ニ斯名ル
トニヤ當国ノ名所ナリ古哥アリ名所ノ部ニ委シ

神垣村 カフカキ 畑山

戸数四十二軒 辻堂本尊 阿弥陀 観音

氏神若一王子権現 祭日九月九日

室大明神 下土居祭之

八幡宮

谷村ヨリ東へ 支谷ニアリ上下両村ニ分ル

清水村 スズ

戸数二十四軒 辻堂 本尊 茶師

氏神大多羅大明神 祭日

慈光山清泉寺 臨濟禪本寺鳥取廣徳寺

古城 在梶原山 梶原橋

谷村ト両滝川ヲ隔テ南ノ山下ニアリ但旁尔ハ川ノ

東ニモ入組テアリ両滝川ニ掛レル街道ノ獨木梁ヲ

梶原橋トイフ是モ當村旁尔ナリ或説ニ昔平家ノ落

人此山奥ニカクレケル時梶原景時討予ニ来リケル

カ村民平家ヲイタハリ此辺ニ落人ナシト欺キケレ

ハ梶原遂ニ此橋ヲ渡ルトナク引返シケル故橋ノ名

トナルト云フハ附會ノ説ナリ平家落人ノ事ハ其モ

アルヘシ梶原ノ名ハ橋ノニ限ルヘカラス此辺梶

原山梶原城トドイフアレハ昔梶原氏ノ武士領地ノ

地ナルヲ以テ斯云ナルヘシ古城部ニ具ナリ

古城ニケテ梶原山ニアルヲ梶原ノ城トイフ又岩埼

ノ城トイフアリ古城部ニ記シテコトニ畧スサテ又

梶原山ト小谷隔テ北ニ相對スル山ノ半腹ヨリ上ノ

赤砂土ノ中ニ一奇物アリ其形大抵四角或ハ切子ノ

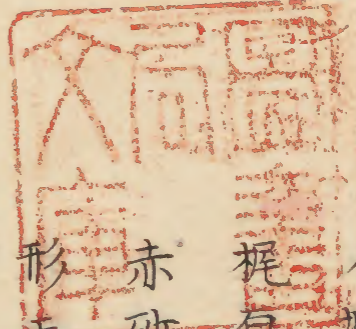
形モアリ大黒豆ノ如ク尤モ大小アリ其色鉄ノ錆タ

ルニ侶テ鉄ニアラス石ニ侶テ石ナラス刀ニテ削ル

変アタハス鉄槌トモ碎ルナシコレ何タル物トイフ

事ニラス土俗ニ梶原豆鉄砲ノ玉トイヘリ按ルニ和

漢三才図繪雷斧ノ條下文畧ニ曰羽州飯盛山奥州鳥



海山常州鹿島及佐渡等ノ北地于今有拾取者俗謂之

天狗鏃其形恰如鏃而長三四寸紫黑色非鉄非石不能

刀削亦奇物也一種有似楔者俗謂之天狗斧而不似斧

也蓋奥羽之山林不時有神軍暴風震動則村民候風震

之止至樹下覓得之或謂雷斧雷楔與此同物異形也實

此非雷或携之物也未嘗聞畿内近國有之此國陰冥地

間有之天地幽微之妙不可誣者唯此不一耳云々當村

此山ニ生スル者モ是ト異形同物ナラム歎此ヲ得ル

ニ時アリ必ス雨後ニヨロシ土上ニハラハレテ取得

ヤスシ

岡益村 山根土居

戸數五十軒 辻堂三本尊 阿弥陀茶師

氏神太田大明神 祭日

万松山長通寺 曹洞禪本寺島取天徳寺

石堂 宝劔坂 丹波太郎墓

土産 藥種數品

清水ヨリ六町許リ西ノ谷隘ニアリ谷村一川越レ八町

許リ橋へ廻レハ十三町許リナリ南ノ山ヲ越レハ八

東ノ私部谷ノ上峯寺へ打越 ナカイナ 十リ半途ニテ三

代寺ヨリ越ル道ト一ツニ十リ當村土人採茶ヲ

業トスル者多シ第一白朮。蒼朮。苳胡。升麻。葛根。茯苓。半

夏。獨活。羌活。桔梗。厚朴。木通。防風。黃連。黃檗。人參 竹節。芍

茶。細辛。薄荷。等其外書尽スヘカラズ九和茶ノ類水蛭

芒莖及鼻等ニ至ルマテ望ニ隨テ不出トイフ夏ナシ

製法コトニ精シ國中取ルヨリ出之トイヘトモ此里

ニ製スル尤多シ

石堂 村ノ西 町許リニ森アリ石堂ノ森トイフ其上

ノ小山ノ平ニ石ニテ建タル堂アリ是ナリ下ノ臺三

間四方高 削リタル一ツ石ヲ以

テ築合タリ上ノ臺坐方 厚 ナ 長 ナ 通リタル

一枚石ニ築廻シ其上面小石ニテ如何ニモ平カニ造
リ其中英ニ長六尺余無縫塔ヲ安ス圍六尺余塔上天蓋石
アリ方四尺余破風形ニ作レリサテ大臺坐ノ上ヨリ
削タル般石ヲ以テ恰モ屏風ヲ立タル如ク圍三タリ
其石ノ大^下六尺餘横四尺余或ハ五尺六尺厚扇子ノ
長一尺許リナリ惣ニテ其製作ノ細密ナリ大臺坐ノ
土臺ノ形上框及四隅ノ束柱等ノ形マテ木ヲ刻ル如
ク石面ニ彫刻タリ實ニ石工ナリ尽シタル重古ノサ
マ言語道断ナリ昔ハ無縫塔ニ文字モアリシトニヤ
今ハ漫滅シテ見エス世ヲ経ルノ久遠ナル古今再

三地震ノ爲ニ左右ノ立石倒レテ今ハ後一方ノ石ニ
枚立リ是何人ノ墳墓ナルニヤ郡中ノ人ノ口碑ニハ
安徳天皇ノ陵ト云傳ヘタリ偕又石堂三方ノ谷隘ニ
安置スル五倫ノ碑碣依然トシテ其数ヲシラス是皆
平家貴族ノ墓トイヘリ昔ハ山下ニ仁王門モアリシ
トソ今モ草堂ニ木佛数多御坐セリサレハ當村百姓
西尾九郎兵衛トイフ者ハ平家ノ侍越中次郎兵衛盛
繼末孫ニテ昔ヨリ石堂ヲ守護シテ累代此里ニ相續
セリト其因縁ニテ今モ此山ニ木ヲ樵者ハ彼九郎兵
衛一訃ハサレハ山ニ入ルヲ許ストイヘリ総シテ

此里ニ西尾氏ヲ称スル者多シ是皆盛継一族ノ末十
リトニヤ其外長通寺開基ノ因縁等事長ケレハ石堂
因會ノ下ニ委シク記ス

丹波太郎墓 村ノ口六地藏ノ後ノ圃中ノ小キ培塿是
ナリ五倫モ今ハ茨芒ノ中ニ散乱セリ助太郎トイフ
ハ丹波國多紀郡小山ト云ルノ百姓ニテ夫正年中ノ
者トイヘリ秀吉公天下草創ノ時故有テ浪人安堵ノ
證文ヲ賜リケル其ヨリ天下ノ遊伴トシテ諸國ヲ横
行シ已カ心ニ愜^カヘル處ニハ幾日モ止宿シテ我僉ヲ
挙動ケルトソ其比當國ニ此里ノ豪農櫻田某ト云者

ノ家ニ逗留シケルガ其妻女ガ容色ニ惑ヒ私カニ亭
主ヲ殺シ推テ入聲トナリケルトニヤ然ルニ先夫ノ
男子二人アリ成長ノ後其事ヲ知テ讎ヲ討ムト狙フ
アルトキ秋ノ下ナリシトカヤ兄弟ノ男子刀ヲ縮隈
ノ中ニ匿置助太郎カ飯ルヲ待死ニ助太郎田圃ヨリ
飯リ來テ後ノ小川ニ足洗ヒケルヲ二人ノ男子忽是
ヲ刺殺シ其死骸ヲ彼処ヘ埋ミケルト十ム云傳ヘ
タリサレハ當州ニ昔ヨリ女童ノ唄フ歌ニ已カ姉サ
マ幾野ニ御座ル行ハ能來アガレト被仰ル上レ詞ハ
黍十ヒガ已ガ下筆物書ナラバ丹波助太郎大卷筆デ

心細ニ書テ遣トオカシク節ツケテ諷ヒケル想ニ浪
人ノ産業ニ筆ヲ作りテ諸国ヲ賣歩行當国ニモ來リ
シナラム但馬ノ人ノイヒケルハ助太郎トイフハ近
国ニ名高キ大膽不敵ノ渾章者ニテ今モ丹波丹後但
馬ノ土俗ニ允テ無理イフ人ヲサシテハ助太郎ジヤ
トイフトイヘバ當村人ノ狼藉モ虚誕ニハアルマ
シニヤト思ハル猶委シク古墳ノ部ニエユ

寶劔坂

安徳天皇崩御ノ後宝劔ヲ此山中ニ埋ケル故宝劔坂
トイフヲホケ坂トイフト云傳ヘタリ

山根村

戸數二十軒 辻堂 本尊 阿弥陀
氏神高鉾大明神 祭日

龍生山栄久寺 臨濟禪本寺
京都妙心寺

本谷筋ニテ清水ヨリ八町川南ノ山際ニアリ橋原橋
ヨリ十六町谷村ヨリハ半里ナリ神垣ヘ四町ハカリ

新井村 舟山 四軒内一軒
吉野出村

戸數二十五軒 辻堂 本尊 阿弥陀

氏神折居大明神

泉塚

本谷筋ニテ北側ニアリ民家ハ街道ヲハナレテ山際
ニアリ山根ヨリ川越ハ町トス其渡リニ畧約アリ舟
山トイフ出村上午ノ街道端ニアリ本村ノ奥十二三
町東ノ山ニ小屋ノ平トイフ処アリ昔平乱ノ時近郷
ノ諸民其処ニ小屋ヲ作テ隱栖ケルトニヤ

泉塚

村ヨリ奥ニ町許リユケハ左ノ山スツノ徧阜十
ル亟ニアリ刈人新井ノ石舟トイフ是ナリ三方石ニ
テ築廻シ般石ヲ蓋トセリ前一方ハ漸人ノ匍匐入程

ノ石窟ナリ奥行凡一丈横八尺許リ其内ニ石積アリ
長一間許リ幅四尺余深ニ尺四五寸ナリ奥ノ方半ハ
蓋アリ口ノ方ノ蓋石ハ取テ前ニ敷テアリ其積ノ内
ニ常ニ濁水ヲ湛エタリ故ニ泉塚トイフ豊年ニハ水
多シ凶年ニハ水減シモ此水ヲ攪ル時ハ百日雨フ
ルトイヒナラハシテ諸人ノ恭敬甚シ以前ハ四日共
ニ石ニテ築廻シタルトエテ前一方ノ石ハ自然ト
洙イデタルカ但人ノ穿ケルニヤ其石トエテ窟ノ
左ノ側ニアリ翠樹根ヲカラミ青苔滑ナルサマ此石
ノ拔出タルモ近比ノ一共エズ彼般石上ニ石碑モ

十ク終ニ土ヲ置テ平ナリ又四五間右ノ側少シ低キ
所ニモ小キ石窟アリ石積八十ニコレモ一方石拔
出テ前ニ立リ土人口碑ニ昔源平ノ乱ニ安德天皇
當國ニ落玉ヒ當郡荒舟村ノ山奥ニ崩御シ玉ヒケル
二位殿帝ノ後世ヲ吊ヒ寺ヲ建所々ノ佛閣ヲ再興
シ玉ヒケルガ是モ其後カクレ玉ヒケルヲ此処ニ葬
リケル其墓ノ跡トイヘリ支證十キ里諺ナレ共國中
所々平家落着ノ事蹟少カラス近縣花慶山光良寺土
師ノ縁起ニモ二位禪尼再興ノ事ヲカキノセタレハ
シハラク土人ノ口碑ニ後フヘキニヤ泉塚因繪別卷

ニアリ

吉野村

戸數三十三軒

氏神松尾大明神 在松尾村

藏王權現 祭日

花慶山光良寺 真言本寺中河原村源門寺

本尊藥師如來 号土堂兼師是也

修驗正覺院持

和銅年中建立平地境内七畝免地

寺領高四石四斗八合

古城

在境内山崎毛利氏長臣和田某構也

新井ヨリ川越八町南側ノ山際ニアリ山根村ト同シ
側ニテ其間八町許リナリ村ヨリ私部郷ノ篠波ノ義
倉谷一下込ナリ自踏取廿八町許リ大難取ノ歩行道
扱又此里ハ曰松尾ト一邑ナリ吉野ト号スルハ昔巨
濃郡荒金谷ノ深山ニ國峯トテ大和國金峯山ヲ移シ
テ役ノ行者ヲ勸請シ國中ノ山伏大峯人ノ修行シケ
ルトソ其比此処ヨリ道ヲ開キ宇倍山ヲ經テ彼國峯
ヘ登ケル故ニ此地ヲ金峯山ノ麓吉野ニ准ヘケルト
ナリ藏王権現ヲ勸請セルモ其謂ナリ是ハ役行者和

州金峯山開基ノ後一百余歳トカヤ大峯ニ毒蛇住テ
人ヲ害シケル間其ヨリ峯人ノ道絶ケルトニヤ依之
因別ニ大峯山ヲ立テ法力修行ノ場ト定リシナリ久
シテ後三寶院座主聖法僧正 詔ヲ奉シテカノ大蛇
ヲ退治シフタ、ヒ本山ノ道開シカハ諸國ノ國峯ハ
廢地トナリス今ニ巨濃郡新宮村ノ奥ニ其趾アリ別
卷四画ニ詳ナリ

土堂兼師村ノ中ニアリ花慶山光良寺ノ廢地ナリ本
尊兼師如来長七尺二寸行基ノ作トイヘリ両脇士ア
リ左ハ阿弥陀如来右ハ觀音菩薩長六尺ナリ
各座佛臺坐共

寺ハ和銅年中ノ開基ニテ當時ハ廣大無量ノ大寺ナ
リニトカヤ然ルニ中比頽廢シテ縁起ノ記録モ絶夫
草創ノ傳記モ具ナラス今ノ縁起ハ寛文年中ノ記録
ニテ其比老民ノ口談又此寺ニイヒ傳ヘタルヲ共ヲ
委シク記セリ其粗ヲ考ルニ此地開基ノ初、高草郡加
露ノ浦ヨリ此処マテ左右ニ人ヲ立ナラベ器ヲ以テ
潮ヲ汲ミ其立ル所ノ人衆ヲシテ此所ニ運ヒヨセ彼
潮ヲウツシ境内ノ地ヲ築カタメケルトナリ其有ニ
因テ今ニ至テ地中ニ蠟ワリヲ生セス此山中是一ツノ靈
異ナリ昔ハ七堂伽藍ノ構ニテ佛像千餘アリニトゾ

迦世マテ本尊ノ傍ニ山ノ如クナリシカ今ハ百余餘
残レリ中古此寺再興ノ願主ハ平相國清盛公ノ子孫
尼君トイフ人トイヘハ二位禪尼ナルヘシ今ノ聖容
ハ其時ノ莊嚴ト聞ユ三尊共ニ無上ノ金薄ヲ濃貼シ
光彩煥然トシテ眼ヲ窺フアリサマ全ク當世ノトニ
アラス借又此寺建立ノ初ヨリイヒ傳ヘタル口号ア
リ其詞ニ云朝日サス夕日カ、ヤク萩ノ柱ノ其下ニ
金千両朱千盃漆千盃繩千束ト書ル置文アリト是ヲ
聞傳ヘタル世々ノ劫盜共彼金ヲ取ムトテ地ヲ穿テ
柱ヲ割リ山中ヲサカシケレト遂ニ求得タルトイフ

者十シ天正年雲州ノ浪士山中鹿之夕國府ノ既山ニ
在陣ノ時其郎等此寺ノ事ヲ聞傳テ寺中ヲ堀尽シ夕
レ共得サレハモシヤ佛軀ニ竈テアルヘキカトテ如
来ノ脊ヲワリテ揚シケルトイヘル其跡一尺余今ニ
残レリ彼尼君再真ノ堂宇モ悉ク頽顛ニテ本尊脇士
三尊ノミ草萊ノ中ニ立玉ヘリ然ニ此里ニ紹慶トイ
ヘル富農アリ法滅ヲ十ゲキ當山一流ノ山伏覺行ト
イフ行者ト心ヲ合セテ四間ニ六間ノ草堂ヲ建立シ
本尊ヲ安置セリ時ニ慶長九年トカヤツレヨリ相續
テ今ニ修驗持ノ寺トナリ昔ノ名ノミヲ傳ヘタリサ

レハ花慶山光良寺トイヘル寺号ヲ傳ヘナガラ土堂
ト唱ル莫如何ナル謂レニヤ若山中が一乱ノ後本尊
ヲ辻堂トドニ安シケルヲ訓音相近キヲ文字ニ受テ
土堂ト書來レルニヤイブカシナヲ別卷古刹図繪ニ
記ス

松尾村

戸数十八軒 辻堂 本尊 藥師

氏神松尾大明神 祭日

延喜式神名帳所謂予見神社是也

吉野ヨリ二町許リ南ニアリ曰吉野ト一村ニテ古名
ハ予見里ナリ氏神松尾明神ヲ予見神社ト号スルモ
其故ナリ此神上古ハ村ノ上ノ山腹ニアリ其地險阻
ニシテ神拜ニ便リ少キヲ以テ中比麓ニ遷座セリ今
モ其山ヲ古予見トイフ是ナリ村ノ後ヲ南ニ山越ス
レハ私部郷ノ覺王寺村ヘ打越一里許リ此ヲ滝坂ト
イフ難処ナリ

中河原村

大山根

源門寺

戸數四十六軒

内大山根五軒
源門寺七軒

辻堂

本尊

阿弥陀

氏神松尾大明神

在松尾村

妙見山源門寺

真言宗本寺江州飯道寺

修驗金樂院持

松尾ト同シ側ニテ五町許リ川上ノ山際ニアリ大山
根源門寺トイフ支村ニケル川ヲ隔テ北側ノ街道端
ニアリ源門寺トイフハ古刹ノ名ヲ呼テ村名トス今
其廢跡有テ金樂院トイヘル山伏是ヲ守護セリ新井
ヨリ源門寺ヘ十五町許リナリ此ヨリ奥ヲ大草郷ト
イフ大坂小坂トテ西谷ニ分ル源門寺村ノ上外一軒
茶屋ノ前ニ分レ道アリ山手ハ大坂谷ニテ詰リハ西

滝ニ至ル川午ハ小岐道ニテ荒船上地ハナへ通ナ九十リ
大草郷十二個村之内今荒舟木原谷上下ニ
分オホクリ又大石ヲ増テ都合十五ヶ村トス
其土産 炭割木 荊棘ナト 大豆 小豆 粟 稗 茨
柞 木練柞 獨活 蕨 黄蘗 薯蕷 粟 苧 藿
菌 肉耳 鼠足菌 雉 山鳥 兎 狸 猪 川
筋ノ村ニ繻ヲ獵ル同ク築石アリ山辺ノ村々松栗
ノ林 カラ竹 苔竹 楮 桑 柚 梅 大粟
茶花 雨滝ノ奥ニ木地山木地税数多アリテ家具
ヲ挽出シ鳥取へ運送シテ近江ノ日野へマハシテ

交易ス

山崎村

戸數十七軒 辻堂地藏

大氏神菅野大明神祭日

古城 城主毛利中将

當村ハ大岐小岐兩谷ヲ分々ル山ノ崎ニアリ村ノ下
テ雨滝川ト上地谷ノ流レト落合テ一派トナリ流
下ハ国府ノ宮下へ出ルナリ源門寺ヨリ大岐ノ川越
三町許リ上ニアリ中河原ヨリ小岐ノ川越五町ナリ

是ヨリ兩滝村へ二里下荒舟へ十町上荒舟へ二十町
上地村へ一里ニ遠トス
古城 毛利中将ノ本城ナリ村ノ後ノ山ナリコレハ頼
朝卿ノ時大江廣元因幡守トス其後裔ニテ十余代相
續ノ名家ナリシトツ然ニ天文年中其一家私部市場
ノ城主毛利豊元ノ謀計ニ因テ一朝ニ滅亡セリ其比
大草郷ハ勿論邑美郡蜘蛛山ノ辺巨濃郡小田大谷筋マ
テモ山崎毛利ノ領知ナリシト也今ニ至テ當村ノ土
入扇山ノ木ヲ伐ルテ勝手次第ナリモ昔山崎ノ領分
タリシ因縁ト云傳ヘタリ古城ノ部ニ委シ

下荒船村

戸数二十五軒 辻堂 本尊 地藏

氏神妙見社 祭日九月朔日

同 菅野大明神 在菅野村

崩御宮武王大明神 在崩御平祭日三月十二日

観音堂 平家墓

小岐谷西側ノ山趾ニアリ山崎ヨリ小岐ノ川越十町
許リナリ中河原ヨリ山下ニ本道有テ川上へ
ナリ村ノ上外川東ノ岸ノ上ニ観音堂アリ其傍藪ノ
中ニ宝経印塔ヲ安ス又其下ノ田中ニ五倫ノ碑碣多

クアリ是皆平家落人ノ墓ト云傳ヘタリ
崩御宮 村ノ後ノ山腹ニアリ崩御平共イヘリ山路險
シク半腸ヲ踏テ上ル事二十四町ナリ雲霧窈冥トシ
テ更ニ人跡ヲ絶其地形尤モ平坦ナリ南北四町許リ
東西二町余其処ニ森アリ方一町許リ周回三町余ア
ラハ其中央ニ宮アリ北向九尺四方ノ藁葺ナリ内ニ
小祠ヲ安ス武王大明神ト号ス宮ニ向ヘハ右ノ方森
ノ外ニ御洗^{ミタラシ}手アリ地中ニ穴有テ水滄漑ト涌出テ一
條ノ小流^{ムマモノハ}レトナル森ノ前ノ平地ヲ調馬路トイヘリ
後ハ嶺近クシテ山勢急險ナリ是ハ東ノ界ニテ私部

郷ニ隣レリ左右攢峯遠ク打圍テ宮ノ正面北一方開
タリサレ^{ハヒヤカ}氏爽塏ナル夏鳥取郷中及加露ノ海上湖山
ノ湖水マテモ一眼下ニ明ナリ里民相傳フ昔源平ノ
乱ニ 安徳天皇西海ノ難ヲ逃レ此処ニ^{カク}躲レ御座ケ
ルガ程ナク崩シ玉フ其旧迹ナルヲ以テ御魂ヲ祭テ
崩御宮ト崇ムト宮ヨリ下レハ右ノ方ニ少キ平地ア
リ崩御ノ後此処ニ寺ヲ建タル跡トイヘリ^ニ按ルニ神
号武王大明神ハ國中数多有テ計ヘカラス想フニ武
王ノ神ハ上世此地ノ祭神ナルヲ其社地ニ^ニ批テ皇居
シ玉フナラムカサレバ因但兩州ノ間平氏落人ノ事

蹟跡事トイフニ不足 安德帝此山ニ崩シ玉フコソ
不思議ト謂ヘシ岡益ノ西尾カ記録ニ御歳八歳ニシ
テ潛行シ其明九歳ニテ崩シ玉フトアレハ此地ニ御
座ケルモ一年ノ余ハアルニアラス世ニ知事ノ希十
ルハ其故十ルヘシ普天率土王地ニアラサルハ十シ
惟此平家不道ノタメ斯ル狐狸ノ栖ニ誘レ^{イサレトモ}辰トシ草
ノ莖ニ御枕ヲツバダテ玉フニヤト懐古ノ泪ソユボ
レケル

上荒舟村 炭山 戸數三十軒 辻堂 本尊 藥師

氏神子守大明神 祭日 三月九月谷十三日

社領三石 神主 長田氏

同 菅野大明神 在菅野村

下荒舟ヨリ上八町ニアリ炭山トイフ支村アリ村ヨ
リ私部谷ノ詰リ姫路村へ越テ沢田越トイフ一里ノ

難所ナリ

上上地村 ^{ハダ}如クノ字ワシノ下上地 ^{ワダ}大石

戸數上下合六十軒 辻堂 本尊 上阿弥陀 下釈迦
氏神菅野大明神 在菅野村

金山間府

上荒舟村ヨリ奥へ小岐谷ノ切詰ニアリ下上地ハ支
村ニテ三町許リ下ニ在テ上荒舟ト川ヲ隔テ相對ス
此ノ詰リノ高山ヲ扇山ト号ス但馬国界ナリ南ノ山
ハ八東郡ノ界ニテ山ノ彼方ハ私部ノ谷筋ナリ大岐
谷へ越ルハ下上地ヨリ菅野村ヲ経テ朽本村へ出テ
本道トス下上地ヨリ菅野へ十町ノボル其ヨリ朽本
へ十四町下ル是自踏取ナリ

扇山

上上地ヨリ絶頂ニ至テ百町餘トイヘリサレモ
雪中ニヤラスシテハ登ル莫クハストグ捲昭匠口

殿村

碑ニ山巔坦平ナリ度凡方三里余其処南北へ通ル
大河有テ雨滝へツ、ギ下ル其川ヲ横川トイフ廣キ
取アリ又狭キ取アリ其廣キニ至テハ大池ノ如ニテ
取々へ分流セリサレドモツブサニハ見及ガタシト
イヘリ

戸数十五軒 辻堂 本尊 観音

因幡 順礼十九 番之礼 取ナリ

氏神 荒神

同 菅野大明神 在菅野村

當村ハ大收谷ノ口ノ北側ニアリ山崎ヨリ川越四町
許リ源門寺ヨリ五町許リ川上ニテ新井ヨリ半里ト
ス是兩滝筋ノ本街道ニテ村ノ下ニ里堡アリ清水ノ
梶原橋ノ一里塚ヨリ一里宮下ヨリ二里鳥取ヨリ三
里ノ誌ナリ村ノ上ヨリ北へ山越スレハ神護村へ十
八町尤難坂ナリ殿村トイフハ昔山崎ノ城主毛利中
將全盛ノ時家中ノ侍屋敷ノ跡ナレハ十リ今ニ民家
ノ敷地ノ小名ニ上屋敷十ト云モ其故也村ノ上二町
許リ道ノ側山下一町許リノ間五倫宝經印塔十ト苔
ムシタル碑碣数多立竝ベタリ是皆毛利家被官ノ人

ノ葬所トイヘリ
神護村カムコ

戸数二十四軒 辻堂 本尊 観音

氏神 緑大明神 祭日

同武王大明神

同聖大明神

接社 荒神 八幡宮

石牛 窟

松嶋神護兵衛墓

當村八十石ト殿村ト西村ノ間ノ谷底ニアリ四方屏

夙ヲ立タル如ク絶境ナリ十石ヨリ越ルヲ土人八町
イヘ氏自跡取十四町余ナリ其外取々ヨリ越路アリ
皆盤折ヲ踏難ルナリ村ヨリ兩滝ヘ二里岩井湯村ヘ
モ二里トイヘリ

神護兵衛墓 村ノ上氏神ノ社ヨリ 方山内ノ平地ニ
アリ苔ムシタル五倫ノ碑石是ナリ側棒ノ古木アリ
墓誌トイヘリ神護兵衛トイフハ昔菅野大明神ノ神
主ナリ苗字ヲ松嶋ト称ス菅野ノ神ハ三代実録ニ載
之往古ハ大社ニテ大草郷ハ大半此神領ナリ故ニ郷
中ノ一ノ宮トス神主其神領ヲ知行シテ代々此村ニ

居住セリ中古山名家ヨリ神領寄附ノ證文アリ年号
永享ヨリ天文ノ間ナリ其文ニ云、任先例彼領全可領
知或ハ如往古或ハ神護別府ノ更ナドアレハ累世此
地ニ相續シテ別府ノ如ク繁昌シ居ケル社司ニテ有
シトエユ末葉農民トナリ近比マテ住居ケルカ今老
婢一人ノコリテ彼證文ノ屬シテ取持セリ或説ニ村
名神護ハ昔神護兵衛トイフ武士領知ノ地ナルヲ以
テ其人ノ名ヲ呼テ里ノ名トストイフハ粗語ナリ昔
ハ本姓ヲ称スルハ希ナリ已々カ領知ノ名ヲ呼テ苗
字トシ或ハ自己ノ名トスルナリ中比乱世ノ風俗ナリ

神護ハ古来ノ地名ナルヲ社司領知セル故呼テ名ト
セルナリ此類州中ニ勝計ヘカラス扱又此墓誌ノ椽
ヲ三段椽トイフハ春ノ比梢ト中ト本ト三度ニ芽オタ子シ
テ冬モ又順々三度ニ落葉ス総シテ此山ニ大木ノ椽
多シサレト如斯ハ他ノ木ニハ不見トイヘリ此外大
ナル五倫取クニアリ之十神主松島氏代々ノ葬如ト
イヘリ

石牛

石牛ノ事古ノ傳説ニ依リて其ノ形ノ異ナリト云フ
然レモ此ノ石牛ノ形ハ古ノ傳説ノ形ニ異ナリト云フ
其ノ形ハ大ニ異ナリト云フ

十石村

戸数二十三軒

辻堂本尊

観音
地藏

氏神不動明王

祭日八月廿八日

同 荒神

同 菅野大明神 在菅野村

玉龍山普含寺 曹洞禪本寺巨濃郡本光寺

寺領高三石貳斗七升八合

二階堂屋鋪 柱石

本谷筋ニアリ殿村ト同シク東側ニテ奥へ十八町十
 リ神護道ハ辻堂ノ傍ヨリ普含寺ノ上ノ山路ヲ越
 レハ十四町余ナリ下午ノ谷道ヲ回レハ三十町許リ
 ナリ當村ノ山ニ柱石トテ奇石アリ異形皆八角ニシ
 テ長四五尺或六七尺圍二三尺大小有テ短キ柱ヲ削
 ナセル如シ高草ノ御熊山ノ柱石ニ髣髴タリサレ氏
 當丸ノ石ハ土ヲ戴キタレハ常ニ其形ニヘス總ニ土
 ナ穿ハ悉ク立形ニ竝テ少シ頃キタリ其繁キ丸ニ至
 テハ恰モ礎^{タタキ}ノ齒ノ如シ街道ヨリ西ノ山中皆此石ニ
 テ世人石碑トドニ用テ賞翫ス總シテ山崎辺ノ山ニ

此石ニ似テ大ナルモノ数多シユ
 二階堂屋鋪 普含寺本堂ノ上ニ當テアリ寺内ヨリ上
 ハ三四十間ニ過ス神護道ヲ三四町登レハ徑ノ左ノ
 ナリ東西二十間許リ南北十二三間ノ平地今ハ切畑
 トナセリ土人カイダウ屋敷トイフ是ナリ里諺ニ昔
 二階堂出羽入道道蘊此丸ニ懸住ケル跡トイヘリ按
 ニ二階堂道蘊ハ北條相模入道兀牙ノ臣也太平記其
 外諸史録ニモ當國住居ノト不見参考太平記元弘三
 年 後醍醐天皇隱岐國ヨリ還行ノ時諸國ノ軍勢大
 半官軍ニ屬ス中ニモ楠正成金剛山ヲ劔破城ニ楠籠

シ時武家ヨリ数万騎ノ軍勢ヲ催シ圍之寄手ノ大将
数多ナル内ニ階堂モ其一人ナリ然ニ官軍兩六波羅
ヲ攻破リ日ヲ追テ鑑倉へ攻入相換入道遂ニ滅亡シ
ケレハ千劔破ノ圍一時ニ解テ寄手ハ皆南都ニ退キ
ケル於爰天下悉ク官軍ニ皈シケル間千劔破ノ寄手
身ヲ置ニ処テ南都般若寺ニ入テ各出家シテ降人
トナル其徒五十余人ナリ是ヲ囚捕テ追々ニ誅セラ
ルニ階堂ハ朝敵ノ最一武家ノ補佐タリシカモ賢才
ノ譽兼テヨリ叡聞ニ達セシカハ召仕ルヘシトテ死
罪一等ヲ赦サレ懸命ノ地ヲ安堵シテ居タリケルカ

又隱謀ノ企アリトテ同年ノ秋ノ季終ニ死刑ニ行レ
ケルト是其粗ナリ是ヲ以テ考ニ懸命ノ地ヲ安堵セ
ルトハ何國ノ吏ナルニヤ其明ナラザルヲ以テシレ
ハ其時此処ヲ領知シ居ケルモ不可知且ニ變リタニ
改ハ乱世ノアリサマ且其住居モカゾフル程ノ日數
モアラザレハ其事蹟傳へ知ル人希ナルニヤサレバ
安政三年正月廿六日ニ階堂屋敷ノ下ノ段ニテ釈迦
長五寸許觀音長二寸許金像ノ二佛ヲ掘出セシテアリ是即ニ
階堂ガ後室ノ持佛堂ノ迹トイヒ傳ヘタリ

楠城村 山中

戸数四十六軒 辻堂本尊 観音地蔵

氏神荒神社 祭日九月廿八日

八幡宮

氏神菅野大明神 在菅野村

古城 楠氏墓

十石ヨリ川向
南側ニアリスコ
シ東ニ筋違テ
其間八町許リ
十リ民家ハ街
道ヨリ十間餘
リ高ク山ノ岡
ニアリ是ヨリ
雨滝村へ一里
山根村へ一里
半ニ近シト
イへリ村ノ上
于街道ノ上ニ
古城趾ニケ
ズアリ城主

ハ楠氏ノ武士数代相續セリトソ其墓亦トテ村ノ下山端ノ竹林ノ中ニアリ別巻図繪ニ具ナリ

朽本村

戸数四十九軒 辻堂 本尊 薬師

氏神天神社 祭日八月廿五日

同 菅野大明神 在菅野村

照石降石

楠城ヨリ奥へ十町許リ南ノ支谷ニテ本道ヨリ二三町谷へ入込テアリ是ヲ朽本谷トイフ此谷ノ奥又両谷ニ分テ石ハ菅野左ハ大石ナリ菅野ヲ越レハ下上

地へ通^テテ二十八町余十^リ
照石降石ハ村ノ向田ノ中ニ堂ノ跡トイフ小丘アリ其
傍塔ノ礎トテ磐石アリ是ヲ降石トイフ照石ハ其上
于ニ高一間許ノ巨岩是十^リ

菅野村
戸數尙軒
神主 長田氏

菅野大明神 祭日
三代實録載之酒賀神是十^リ

滝

初本ヨリ右南ノ谷奥十四町余山人上ニアリ當村昔
ヨリ百姓一人モ十^シ社司一人神宮ノ側ニアリ農事
ハ初本構十^リ菅野ヨリ上下地へ十四町十^リ當社菅
野神社ハ大草郷十二ヶ村ノ氏神ニテ郷中ノ一宮ト
ス昔ヨリ至今靈光赫々たり神号菅野大明神ハ神社
ノ上ノ高山ヲ菅山ト云其麓ノ神十^ルヲ以テ十^リ里
ヲ菅野トイフモヲ十^シ故十^リ神階因幡神社考ニ具
十^リ

滝

大石村 戸數三十四軒 辻堂本尊 阿弥陀
菅野氏神 大石大明神 祭日
 大石トイフハ村ノ東一町許リニ大十八石アリ高
 地ハ山越二十五町十リ當村ハ本上上地ノ出村十リ
 大石ヨリ五町許リ東ノ谷ニアリ枋本ヨリ十三町奥

地ハ山越二十五町十リ當村ハ本上上地ノ出村十リ
 大石トイフハ村ノ東一町許リニ大十八石アリ高

石井谷村

戸數二十一軒 辻堂本尊 阿弥陀
菅野氏神

菅野大明神 在菅野村
 大石ヨリ五町許リ東ノ谷ニアリ枋本ヨリ十三町奥

左ノ山添ナリ石井谷ハ和名鈔云謂石井郷是ナリ上
古此谷ノ村々ハ皆石井ノ郷内ナリ今草郷ニ属スル
ハ中古以来ノ制度ナリ

下木原村

戸数十六軒

氏神

同 菅野大明神 在菅野村

茅堂 本尊地藏 木佛立像長一尺九寸六分

本谷筋ニテ楠城ヨリ十二町許リ奥南側ニアリ朽本
ヨリ十三町トイヘリ村ノ下ニ一里塚アリ殿村ノ里

堡ヨリ一里鳥取ヨリ四里ノ誌ナリ村ノ前ニ雨滝川
ノ流アリ川ノ向ノ深山ヲ大茅山小茅山トイフ禁ニ
茅堂トイフ旧迹アリ側山道ニ筋アリ右東ノ道ハ巨
濃郡小田谷ニ通リテ詰リノ大坂村ヘ打越ス
リ此坂ヲトワサカヲト云 文字未詳按ニ 雞冠尾カ 左西ノ道ハ
宇倍山ノ域ニテ宇倍越トイヒ又豆坂越トイフ同郡
滝山谷ヘ通レリ坂ノ長凡三里半因幡山ノ峰通ニテ
坦平ナル一平地ヲ行如シ坂ニ一分レ道アリ其間ニ
大清水小清水或錐子ノ蔓トイヘル名所アリ大清
水ハ高岡村ノ上ニアタリテ道ノ側ニ穴有テ清水沸

沸ト湧出テ流ヲ十ス罐子蔓ハ神護村ノ西ノ上ニア
タルトイヘリ

茅堂村ヨリ川向大茅山ノ麓ニアリ草菅ノ小堂是十
リ本尊地藏尤モ古佛殊勝奇絶ナリ相傳フ上古此里
ニ茅ノ太ク長高シテ木ノ如クナルガ生ケル其茅ヲ
以テ初テ辻堂ヲ造リケル故今ニ傳ヘテ茅堂トイフ
トイヘリ或説ニ是ハ草ノ茅ニハ非ズ樞ノ大木有テ
其一本ノ木ニテ造レル故樞ノ堂ナルヲ和訓同シキ
ヲ以テ斯イフナルヘシト無誓ノ僻説ト謂ヘシ按ニ
此堂ノ上ノ山ヲ大茅山トイフ其地ノ堂ナルヲ以テ

茅堂トイフニヤ又和名鈔ニ此里ノ名ヲ大草ト書テ
於保加也ト仮字ヲソヘタリ此ヲ以テミレハ上世此
辺管茅黄茅ノ類繁茂地ナルヲ以テ大草郷トイフ十
ラムカ上古純朴ノ時茅ヲ結テ堂ヲ建ケルヨリ傳ヘ
テ然イフニヤ不分明ト虽氏上ル世ノ事今ヲ以テ推
測スヘカラサル者カ當国ニ傳ル古筆記ニ永享ノ比
マテハ大草郷トアリ長享中ニ至テ大萱ト書リ其ヨ
リ以降文字定ナラス大茅大萱雜用シテ遂ニ大草ノ
本字カクレヌ故実ノ廢セルト謂ヘシ按ニ萱草ハ和
名和須礼久佐俗ニ忘草ト書是ナルヘシ管茅ハ爾雅

云白華野菅俗云智加也ナカナリ本草綱目曰菅茅ハ生山
上似白茅而長入秋抽莖開花成穗如荻花云云其外黃
茅香茅等ノ種類尤多シ同名小異ニテ俗云皆加也十
リ此ヲ以テ考ニ茅堂加也ハ菅茅十ルヘシ和名鈔云
謂郡郷ノ文字ハ奈良ノ朝ニ定ル文字ノ終トイヘバ
大草ヲ於保加也ト讀シムルハ故アル和訓ニヤト思
ハ茅堂ノ謂モ故実ノ傳ルトイフヘシ

上木原村

戸數十一軒

氏神熊野三社權現祭日

菅野大明神 在菅野村
下木原ヨリ四町許リ川向北側ニアリ茅堂ノ上

雨滝村

戸數四十七軒 辻堂 本尊 地藏

氏神妙見社

菅野大明神 在菅野村

觀音堂 因幡順礼二十番札所

雨瀑 布引滝 宮滝 桂木

産物 炭 本地挽

上木原ノ奥十町ニアリ村ノ上ヨリ東北兩谷ニ分ル
右東ノ谷ノキリツメニ滝アリ兩滝トイフ其滝ノ名
ヲ呼テ村名トヒリ尤北ノ谷ハ巨濃郡銀山ヨリ湯村
ヘ通ル本道ナリ道ノ半途ニ一里塚アリ初本ノ里堡
ヨリ一里トス又東ヘ分レシ支徑アリ其ツマリノ高
山ニ鸚鵡石洲ガ濱ナドイヘル名所アリ其所マデ谷
徑十六町余ナリ本道ヲスグニ通レハ十五嶺ニ至ル
コレ法美巨濃郡界ナリ兩滝村ヨリ此嶺マテ十五町

嶺ヨリ銀山村ヘ十一町岩井湯村ヘ兩滝ノ村ヨリ二
里十二町同鳥越村ヘ一里ニチカニトイヘリ又滝ヨ
リ右ノ方山路アリ畑谷トイフ但州海上ヘ越ルナリ
村ヨリ一里半トイヘリ兩滝村ムカニハ瀑ノ谷ハ数
町イリユメアリニトグ其比ハ銀山ト木原トノ間ニ
民屋ナク雪中往来ノ人難儀ナリシカハ近世民家ヲ
東北追分ノ谷ノ口ニ移サレテヨリ旅行ノ人患ハ十
カリケルトソ

滝 村ヨリ正東ニ當テ谷奥十五町許リニアリ其地峻

巖聳ヘ林壑邃深ニシテ四時蒼翠タリ瀑ハ南向ナリ

高十二丈餘目、絶ヲ下十リ白虹雲ヲ穿絶壁ヲ浮下ル
水ノ音ニ山鳴谷應テ更ニ人語ヲ不聞寒聲月ヲ誘ヲ
走ル絶景窮リ無シテ廬山ノ銀河三千丈トモ謂ヘシ
昔ハ滝口ニサシ出タル巖鼻有テ提子口ノ如シテ其
匝ヨリ泌落ル水簾廣四五丈ハカリ十リニトニヤ然
ニ享保己酉ノ洪水ニ彼提子口ノ岩石破レ落テノ千
水勢大ニ折タリシトゾサレトモ今モ飛溜濺沫ノ乱
散形勢雲霧霞々ト虚空ニ漲リ雨ノフルカ如ク空翠
常ニ衣ヲ霑セリムカシハ如何ハカリニヤアリケム
雨滝ト名ツケシモ其故十ルベシ滝ノ右方ノ石壁ニ

不動ノ像ヲ彫刻ス直下ニ桂ノ老樹アリ上ハ青雲ニ
枝サシ下ハ三泉ニ根サシテ一株十二本ニワカレタ
リ周回五丈餘鬱蒼ト森ヲナセリ幾ノ星相ヲ経テカ
クノ如ク遂ニ斧斤ノウレヒモ知ラス愛ナテタキ例シト
イフヘシ滝ノ素流桂ノ下枝ヲ潜リ飛湍岩石ヲアラ
ヒ下リテ一條ノ川トナレリ又其北側ニ滝アリ山ノ
腰ニ水脉アリテツ、ギクタル白練布ヲハエタルニ
似タリユエニ布引ノ滝トイフ風景モワトモ奇勝十
リ又其下モ筍滝トイフアリ三汎一河ノ長流トナル
コレ稻葉川ノミナモトニテ其末ヲ袋川トイフ別卷

